

13



地上から1cm開ける



自転車に乗車時、補助輪と地面は1cmのすきまがあくように調整した後、ハブボルトで固定します。

△注意

標準取付トルク：
30-35N/m (300-350kgf/cm)

警告

お子様が自転車を乗車される際は、別紙の取扱せ名所に記載の注意事項、取り扱い方法等をお読み頂き、十分に理解した上、指導してください。

以上で本製品の組立ては完了です。

乗車前に各部に緩みやガタツキがないか、部品はしっかりと取り付けられているかを十分に確認してください。

組立て・調整方法については当社 WEB ページ上にて案内しておりますので、別途ご参照ください。



FAQ・よくあるご質問
各部の調整方法

http://www.doppelganger.jp/after_service/faq/



オーナーズマニュアル
(組立方法を動画で解説しています)

<http://www.doppelganger.jp/om/>

警告 点検・調整チェックリスト (取扱説明書 p.18) に基づく点検を行ってください。

- ・点検時期以外でも異常を感じた場合、点検・調整を行ってください。
- ・お買い求め後 2 ヶ月以内に第一回目を、第二回目以降は 1 年毎に実施してください。
- ・点検・整備はお早めに自転車販売店 (自転車整備有資格者) に依頼されることをおすすめします。(有料)
- ・異常を感じた場合は直ちに使用を中止し、製品を購入された自転車販売店にご相談されるか、弊社サポート窓口までご連絡ください。

※当説明書内容の無断転用を禁止します。

Copyright©2016 BE-S CO.,LTD. All right reserved.

要保管

DOPPELGÄNGER®

組立説明書

自転車 子ども用 BMX + V 型ブレーキ タイプ

20170427

注意：製品の組立て前に必ずお読みください。

- ・初期不良対応期間は、お買い上げ日もしくは商品到着から 7 日間です。
- ・防犯登録は法律により義務化されています。お買い上げの自転車は防犯登録を行ってからご使用下さい。
- ・自転車は点検整備が必要です。日常的に安全点検を行ってください。また、購入後 1 ヶ月、半年から 1 年毎に定期点検を受けて下さい。
- ・点検や整備、防犯登録 (解除) の費用はおお客様のご負担となります。
- ・販売証明書は、文字通り店舗がお客様へ自転車を販売したことを証明するものです。販売証明書は、自転車を購入された販売店へご依頼下さい。
- ・お近くに取扱店がなくインターネットショッピングでお買い求め頂いた場合でも、必ず自転車整備有資格者のいる店舗で点検をうけてください。店舗での点検を行っている場合に限り、製品保証対応期間が 1 年間となります。詳しくは取扱説明書をご覧ください。

組立て手順

本製品は組立てが必要です。組立てには知識と技術が必要となります。

本書をよくお読みの上、手順に従い組立てを行ってください。

注意

自転車は点検整備が必要です。組立てをご自身でされる場合でも、ご乗車前には必ず自転車整備有資格者のいる店舗で点検整備を受けてください。



ブレーキアーチ



ブレーキアーチを中央に寄せながら、ブレーキケーブルを引き上げ、ブレーキを開放します。



ハブ軸



ハブボルト

前輪の左右ハブ軸から、ハブボルト、爪付きワッシャーを外します。



前輪をフロントフォークに取り付けます。



前輪の左右ハブ軸に爪付きワッシャーを取り付けます。爪をフォーク側に向け、前輪取り付け穴の上部に設けられた小さな穴に引っ掛けます。



ハブボルトを取り付けます。工具を用い、ハブボルトを**左右交互**に締め上げ確実に固定します。

△注意
標準取付トルク：
30-35N/m (300-350kgf/cm)



アヘッドからクランプを取り外し、ハンドルバーを取り付けます。この時、ハンドルから出るワイヤ類にもつれがないか必ず確認してください。



クランプを被せハンドルを仮止めで固定します。ハンドルとフォークが平行となるよう、ハンドルの角度を設定します。

※フォークはブレーキキャリアが前方向に向くように必ず設定してください。



クランプの固定は、各ボルトに均一なトルクがかかるよう、左図の順に少しずつ締め上げ、確実に固定します。

△注意
標準取付トルク：
16-25N/m (160-250kgf/cm)



ハンドルと前輪が垂直になるよう設定します。アヘッドのコラム側の上下2本のボルトを均一のトルクで固定し、キャップボルトを固定します。

△注意
標準取付トルク：
16-25N/m (160-250kgf/cm)



作業行程1で開放した前輪ブレーキを接続します。左右ブレーキアーチを中央に寄せながらブレーキケーブルをストッパーに引っ掛けます。



サドルを取り付けます。サドルの支柱をフレームに差し込みます。サドルの支柱に刻印されるはめ合わせ限界線が見えない範囲で高さを設定し、ボルトで固定します。



ペダルを取り付けます。ペダル軸先端に(R)と刻印されたペダルは右クランクに**時計回り**で取り付け、(L)と刻印されたペダルは左クランクに**反時計回り**で取り付けます。ペダルは手締で取り付けした後、最後に付属の板レンチで確実に固定します。

△注意
標準取付トルク：35-45N/m (350-450kgf/cm)
取り付けが不完全な場合、走行中にペダルが脱輪する危険があります。